

泉史跡二子塚古墳発掘調査の概要

2005年11月26日(土)
福山市教育委員会文化課 畑信次

○2002年度(平成14年度)第1次発掘調査

★測量調査と墳丘の範囲確認調査

- ・古墳の裾を巡る周溝を検出。
- ・墳丘の全長と、後円部の径を確定。
- ・前方部にも横穴式石室が存在していることを確認。(天井石は抜き取られている。)
- ・墳丘は何種類かの性質の異なる土を交互に突き固めながら積み上げた版築状盛土。

○2003年度(平成15年度)第2次発掘調査

★墳丘の範囲確認調査と周囲の遺跡確認調査

- ・前方部幅、くびれ部幅の確定と、補足調査により、古墳の全体規模がほぼ確定。
古墳全長73m(周溝含む)・墳丘全長67m・後円部径41m・後円部高さ6.1m
前方部最大幅27m・前方部高さ4.3m・くびれ部幅19m・周溝幅1.6~4.0m
- ・古墳の造り方が明らかになる。旧地形を一旦平坦にして、周溝および墓壇を掘り、横穴式石室を構築しながら、版築状に盛土をする。後円部、前方部ともに石室の周囲には第1次墳丘が認められる。
- ・前方部にある横穴式石室の長さの確定。(全長12.5m)
- ・古墳の南丘陵で、弥生時代後期の竪穴住居跡2棟を検出。

○2004年度(平成16年度)第3次発掘調査

★後円部にある横穴式石室の調査

- ・石室の西半分を床面近くまで掘り下げる。
- ・両袖式の横穴式石室で、玄室とそこに至る通路からなるが、通路はさらに羨道・石壁がある墓道・石壁のない墓道からなる。
- ・玄室と羨道は巨石を4~5段積み上げ、天井石が架かる。
羨門部の床面には閉塞石が残る。
- ・玄室の床面には拳大の河原石が敷かれていた。
- ・玄室床面近くで、組み合わせ式の石棺の一部が検出された。凝灰岩製(竜山石)。
- ・床面は、玄室から周溝の底に向かって徐々に低くなる。
- ・石壁がある墓道は、天井石のないオープンスペースな部分で、羨道の石材と違い小型の石材をほぼ垂直に積み上げ側壁としている。(前庭部と呼称されている報告あり)

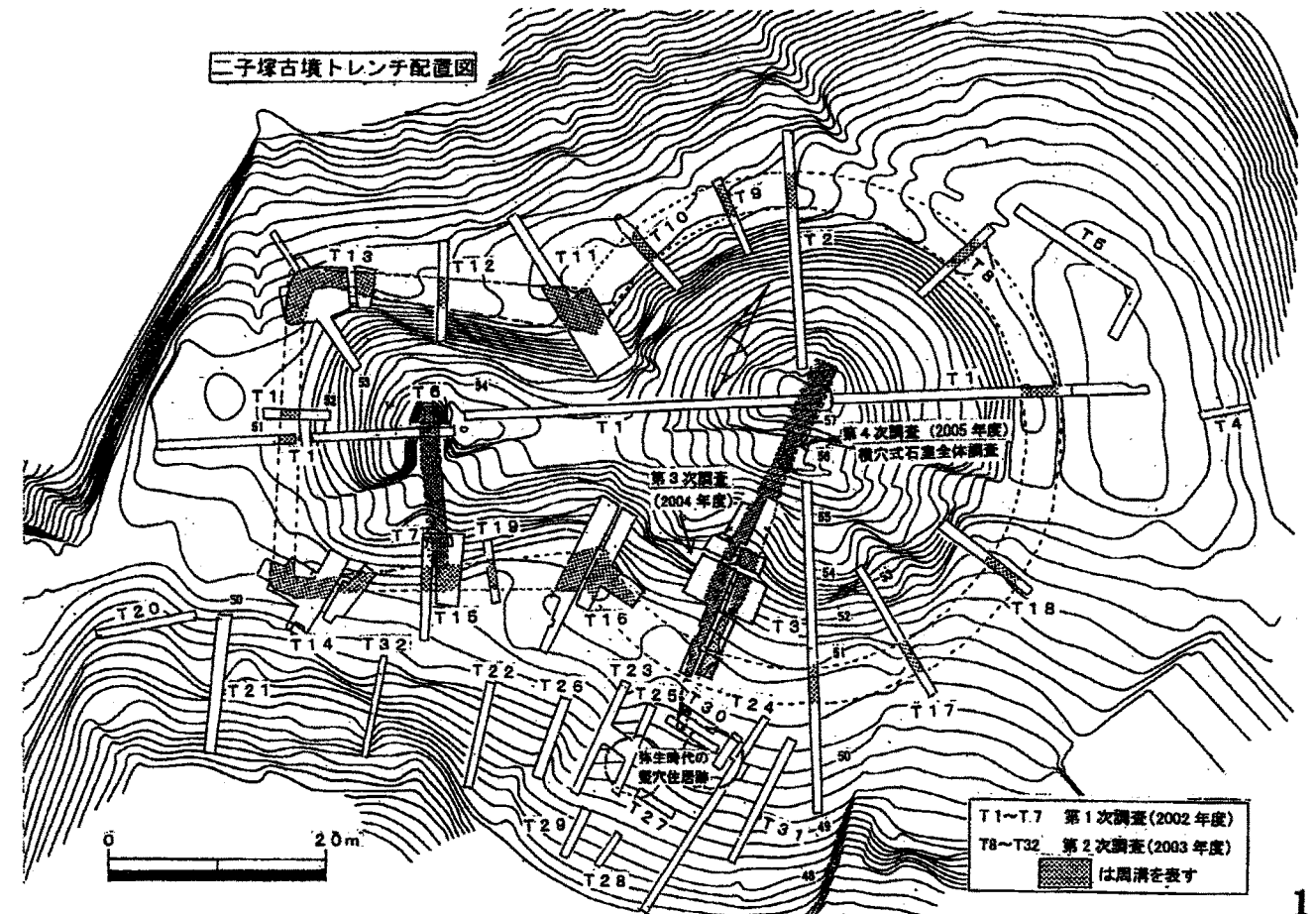
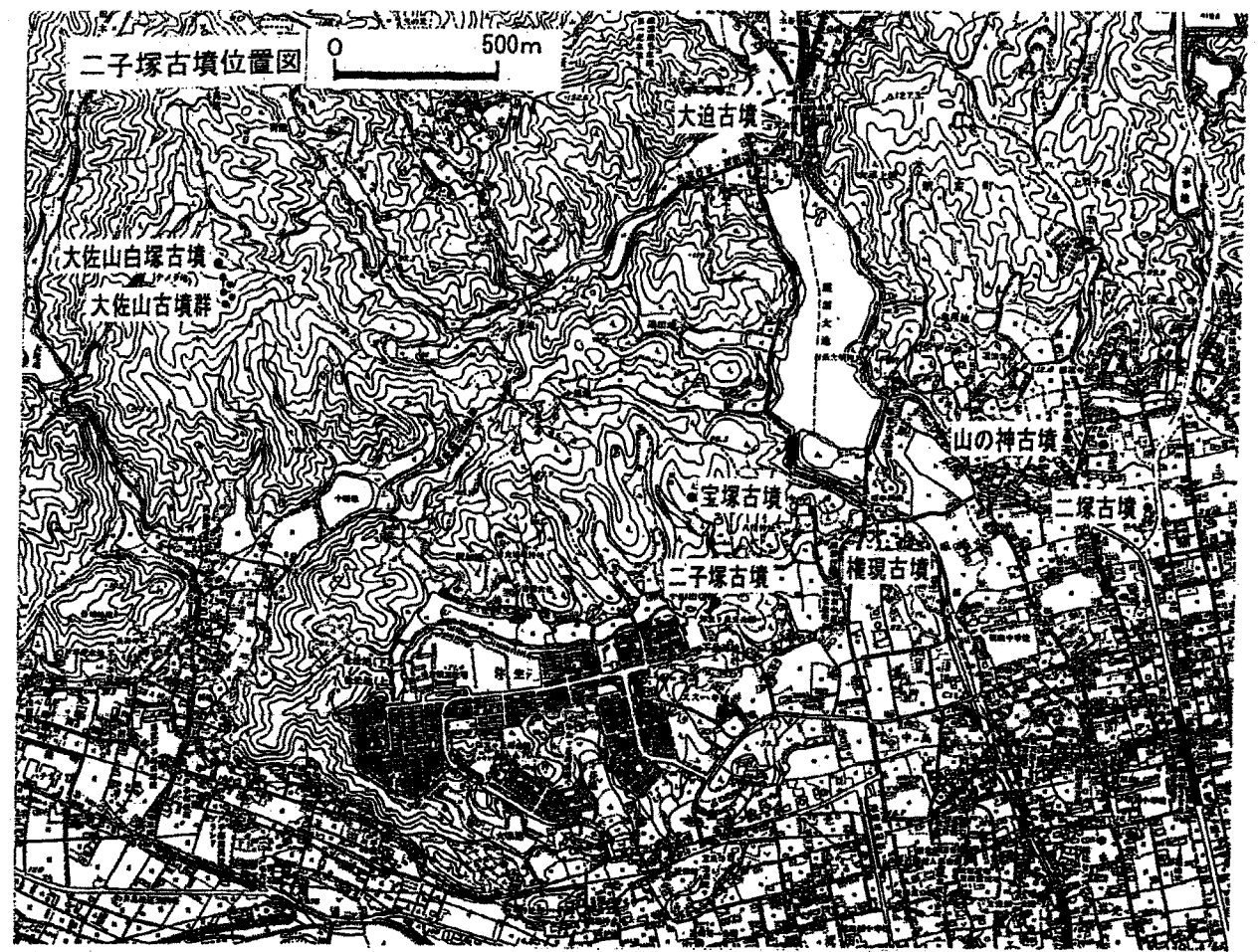
○2005年度(平成17年度)第4次発掘調査

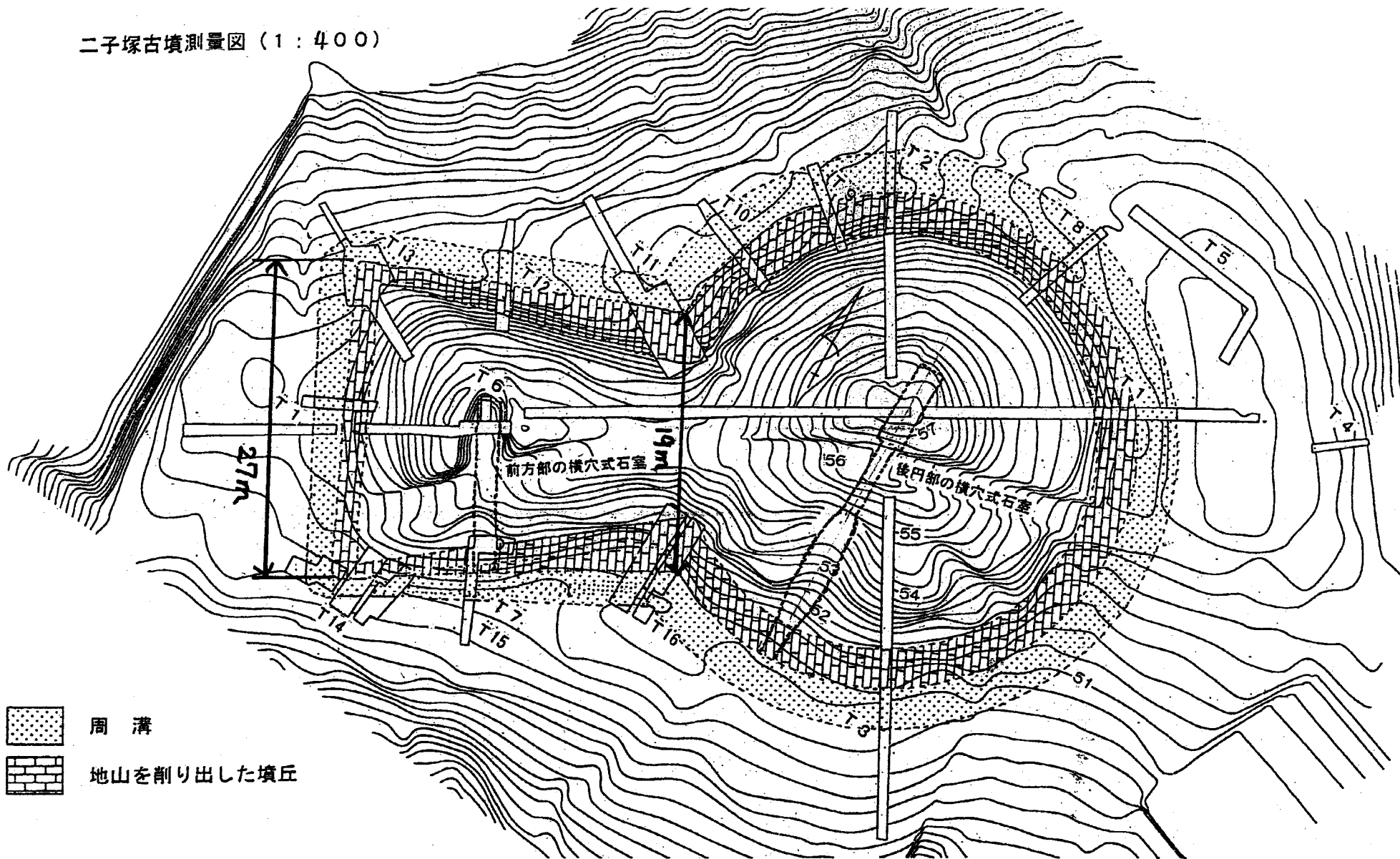
★後円部にある横穴式石室の調査



- ・石室全体を床面まで掘り下げる。
玄室長さ6.8m 玄室幅2.1~2.5m 玄室高さ3.3m
羨道長さ8.1m 羨道幅1.6~2.0m 羨道高さ2.2~2.4m 羨門高さ2.6m
石壁がある墓道の長さ6.5m, 幅2.7~3.1m
全長(羨道まで)14.9m(石壁がある墓道まで)22.3~24.8m
- ・玄室床面に敷かれた礫の間隙には白色の粘土が部分的に残る。
- ・組み合わせ式の石棺が壊された状態で検出。(両側石は持ち去られていた。)

○主な出土遺物

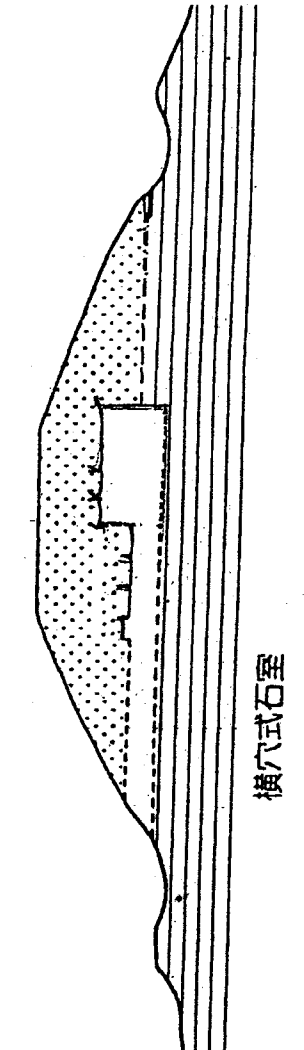
- ・前方部横穴式石室玄室から須恵器の杯身・杯蓋・平瓶・直口壺が出土。
- ・前方部横穴式石室羨道入口から須恵器の杯身・杯蓋・高杯・甕片, 土師器の高杯が出土。
- ・くびれ部中央地山直上の盛土内から弥生土器の甕および大型壺の底部と考えられる土器が出土。
- ・後円部横穴式石室玄室から須恵器の杯・高杯・提瓶・はそう, 土師器の高杯および馬具の轡が出土。
- ・後円部横穴式石室羨道から須恵器の杯・甕片および馬具の杏葉一部が出土。
- ・閉塞石の南側で、環頭太刀の柄頭, 馬具の杏葉・磯金具・轡が出土。



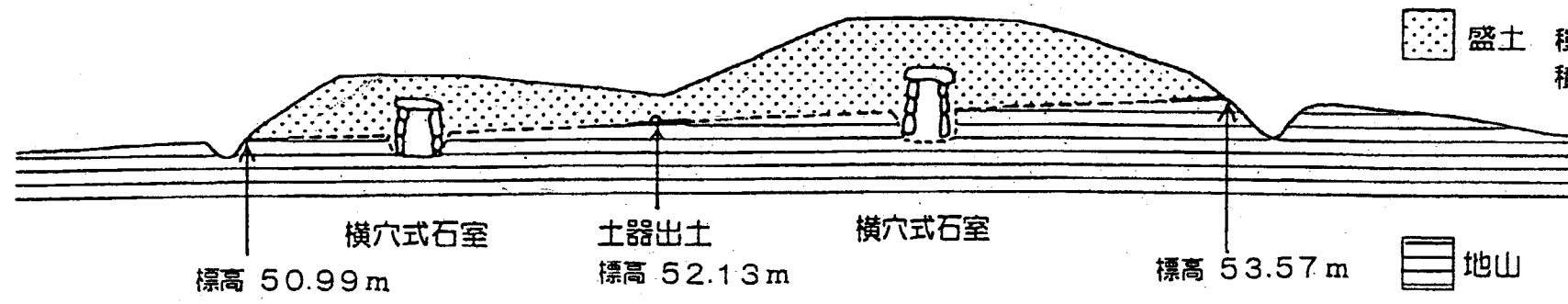
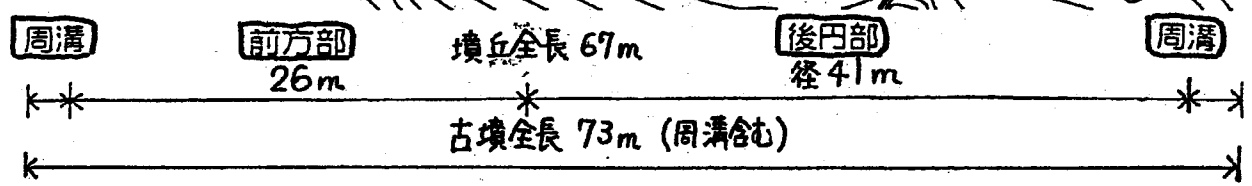



-  周溝
-  地山を削り出した墳丘

周溝
後円部
周溝



後円部南北断面模式図

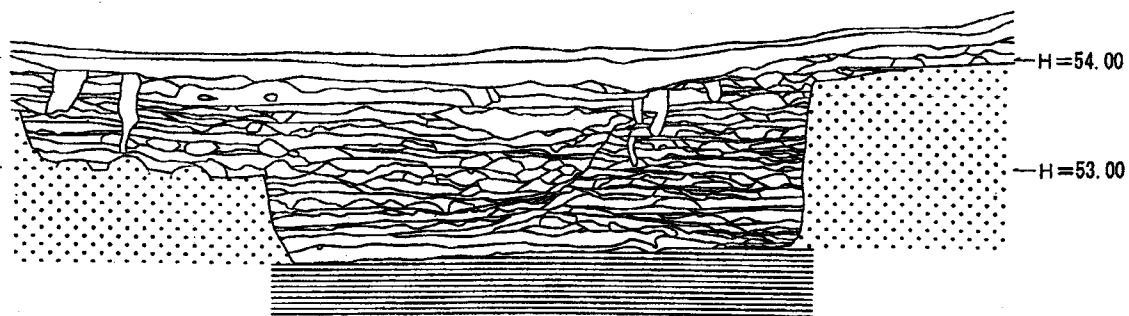
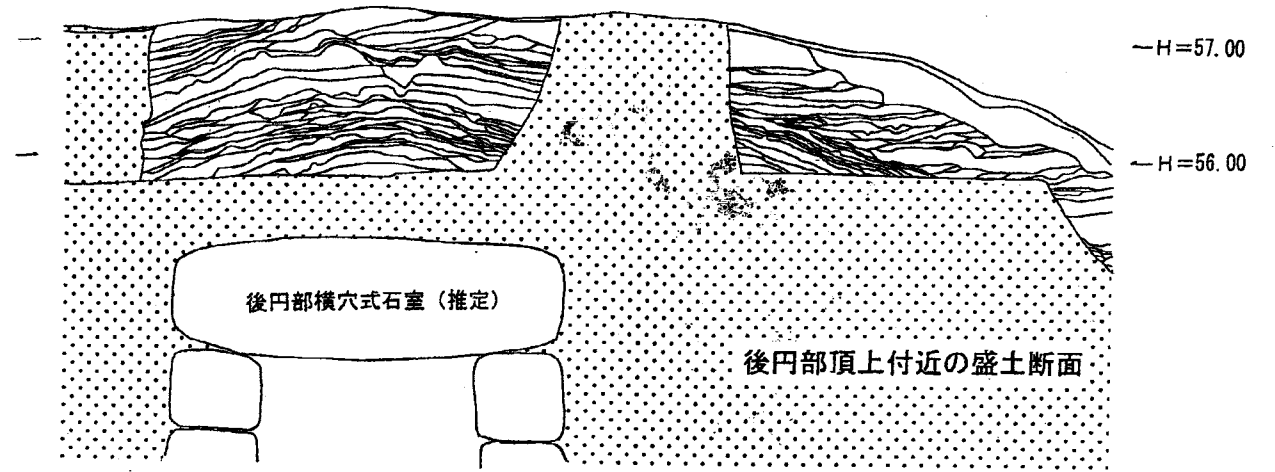
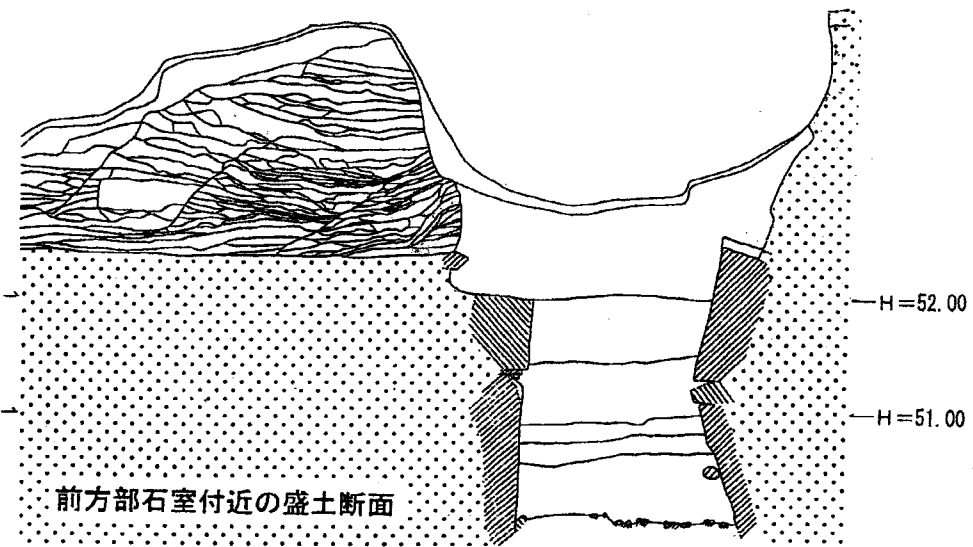


 盛土 種類の異なる土を交互に積み上げていく版築状盛土

 地山

東西断面模式図 (----- 破線は推定)

二子塚古墳の墳丘断面図 (1:60)



▼出雲市 今市大念寺古墳
(史跡今市大念寺古墳保存修理事業報告書より)

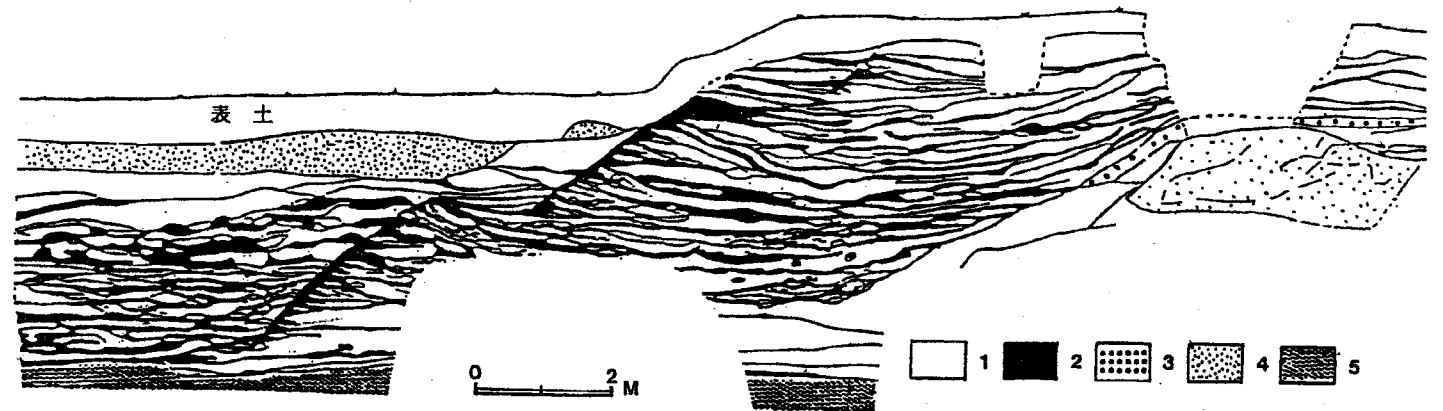
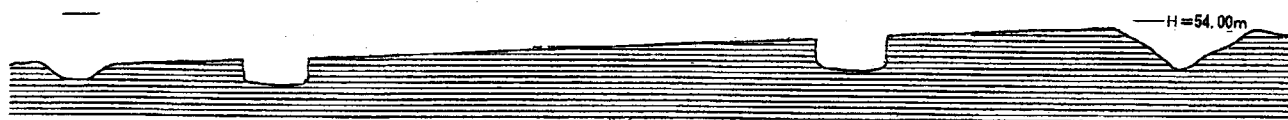


図31 後円部 (右方) から前方部 (左側) にかけての盛土断面

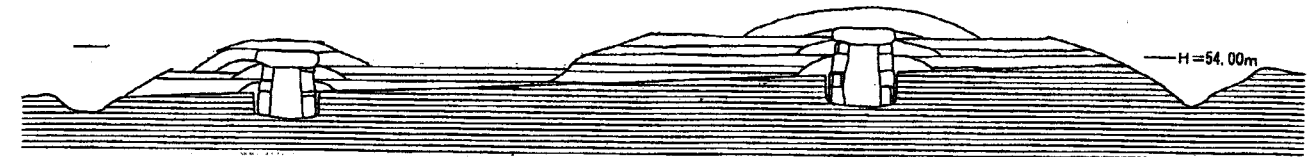
(出雲市教委の資料を若干改変)

- 1. 赤色系土
- 2. 黒色～暗褐色系土
- 3. 玉石層
- 4. ルーズな黒色～暗褐色系土
- 5. 地山

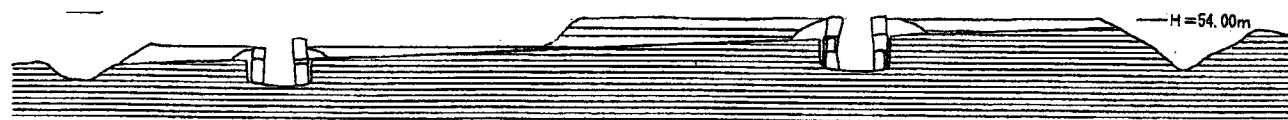
二子塚古墳 築造工程推定図



- ① 旧地山を平らに近い状態に削り、縄張りをする。
石室の墓壇及び周溝を掘る。



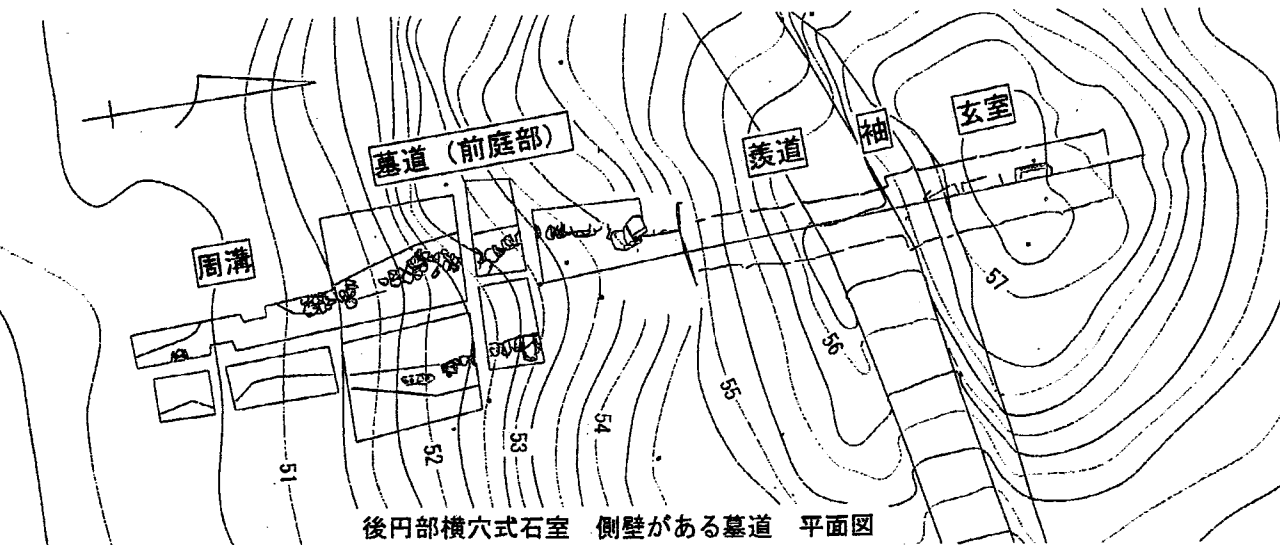
- ③ 石室が完成し、前方部と後円部に円墳状の墳丘ができる。



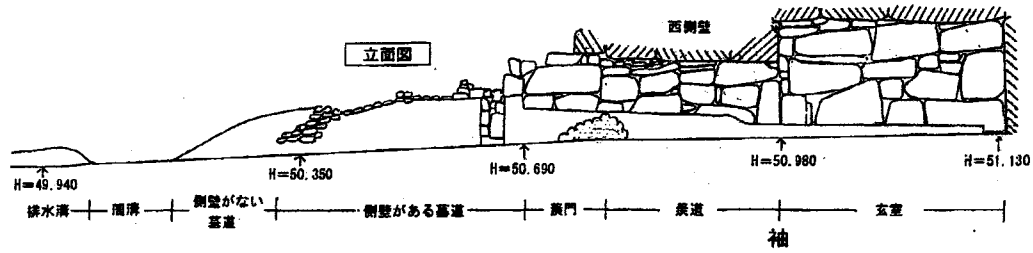
- ② 前方部と後円部の墓壇に石室を構築していく。
墓壇より高くなる石室の周囲は円墳状の盛土で固めていく。(第1次墳丘)
さらに積み上げた石材の高さまで水平に盛土をする。



- ④ 前方部と後円部の第1次墳丘どうしを連結させながら、
前方後円墳の形に整える。

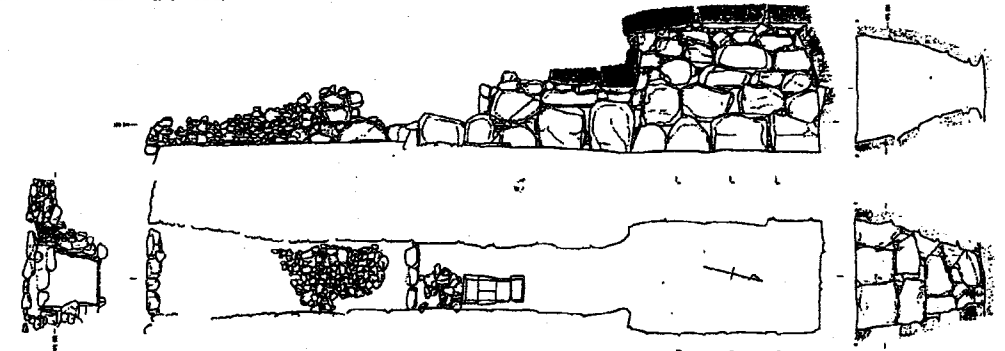


後円部横穴式石室 側壁がある墓道 平面図

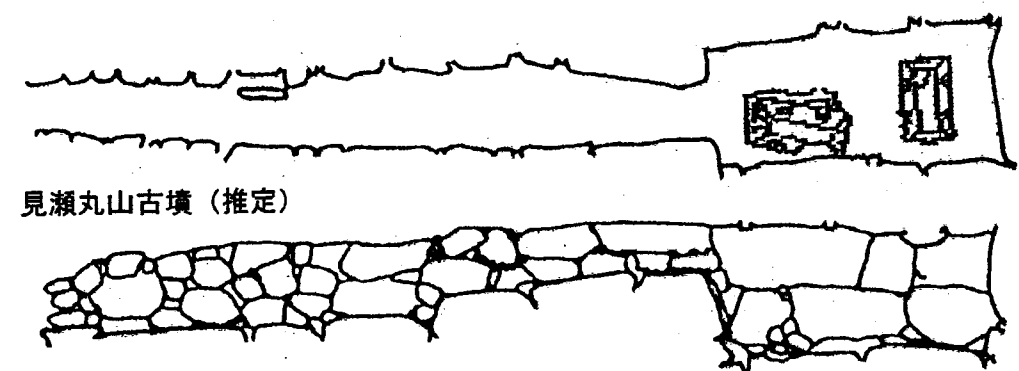


後円部横穴式石室 模式図

【参考】



奈良県當麻町 平林古墳 石室実測図
(當麻町埋蔵文化財調査報告書第3集『平林古墳』より)



見瀬丸山古墳 (推定)

近隣の大型横穴式石室

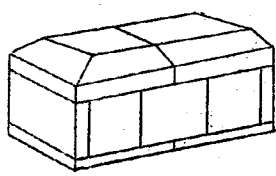
		全長	玄室長	玄室幅	玄室高	羨道長	羨道幅	羨道高
こうもり塚古墳	総社市	19.4	7.7	3.6	3.6	11.7	2.1~2.3	2.8
牟佐大塚古墳	岡山市	18.0	6.0	2.8	3.2	12.0	1.8~2.4	2.0
箭田大塚古墳	真備町	19.1	6.0	3.0	3.9	13.1	2.2~2.3	2.4
二子塚古墳	福山市	14.5	6.8	2.1	3.5	7.7	1.6~1.8	2.2~2.6
江崎古墳	総社市	13.8	6.6	2.6	2.9	7.2	1.7	
梅木平古墳	本郷町	13.3	6.3	2.8	4.2	7.0	1.5~2.4	2.5
唐櫃古墳	庄原市	13.1	7.2	2.4	2.6	5.9	1.55~1.8	
大迫古墳	福山市	11.6	5.6	2.5	2.7	6.0	1.9	2.1
迫山第1号古墳	神辺町	11.6	6.4	2.5	2.8	5.2	1.6~2.0	2.0
大坊古墳	神辺町	11.2	5.3	1.9	1.9	5.9	1.9	1.9
康徳寺古墳	世羅町	8.5	6.5	2.4	2.7	2.0	1.9	1.5

参考

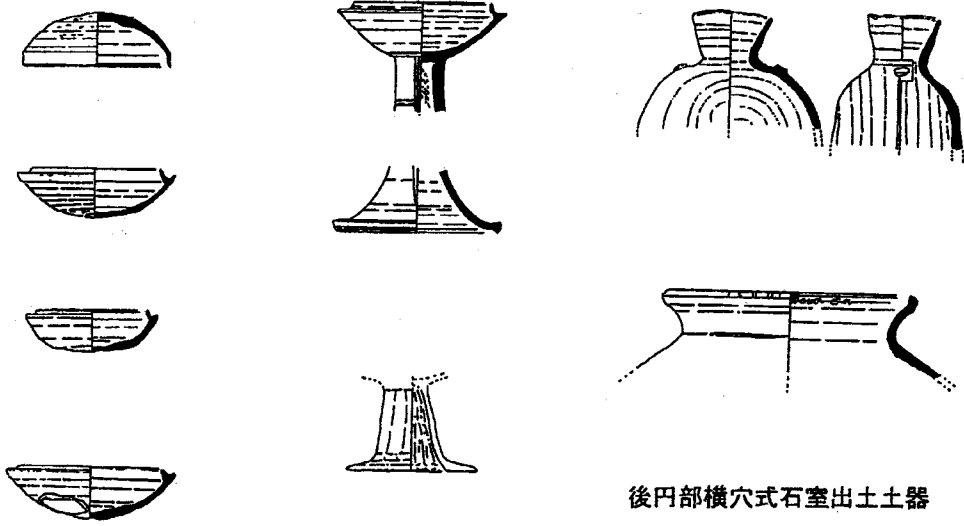
見瀬丸山古墳	福原市	28.4	8.3	4.1	4.0	20.1	1.4~2.3	1.4~2.5
石舞台古墳	明日香村	19.2	7.7	3.4	4.7	11.5	2.1	
平林古墳	當麻町	14.5	5.7	3.3	3.8	8.8	1.9	2.0

側壁がある墓道(前庭部)を有する古墳

		墓道(前庭部)を含む全長	墓道(前庭部)の長さ	墓道(前庭部)幅	玄室長	玄室幅	玄室高	羨道長	羨道幅	羨道高
二子塚古墳	福山市	22.3	7.8	2.4~3.0	6.8	2.1	3.5	7.7	1.6~1.8	2.2~2.6
平林古墳	當麻町	20.1	5.6	2.0~2.7	5.7	3.3	3.8	8.8	1.9	2.0



組み合わせ式石棺 模式図



後円部横穴式石室出土土器